

水陸萬頃

第13号

奥州農業改良普及センター TEL: 0197-35-6741 FAX: 0197-35-6303
いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



※水陸萬頃とは

「続日本書記」によると、胆江地域は「水と土地が豊かなところ＝水陸萬頃」と記されている。

新年度にあたって 所長メッセージ

この4月から、奥州農業改良普及センターの所長となりました柏原一成と申します。令和5年度の定期人事異動により新たに加わった8名の職員を含め、新採用からベテランまで20名体制で、地域の課題解決に向けた普及活動を進めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、感染対策に配慮しつつも少しずつ日常が戻ってくることを期待されておりますが、依然として国際情勢による配合飼料や肥料等の価格高騰は続いております。

本年度は、いわて県民計画(2019~2028)第2期アクションプラン、当普及センターの新たな普及指導計画のスタートの年度であり、新たな普及指導計画では、堆きゅう肥などの活用による肥料費の低減、稲WCSやトウモロコシサイレージなどの活用による飼料費の低減に向けた取組なども進めていくこととしております。

関係機関・団体の皆様と連携し、これまでの技術指導や経営改善支援、新規就農者の確保・育成等に加え、このような新たな取組を着実に進め、農業者の皆様の所得向上等が図られるよう取り組んでいきます。

普及センターだより「水陸萬頃」も、令和2年4月に第1号が発行されてから、おかげさまで4年目を迎えます。今後も皆様に親しんでいただけるようタイムリーな情報提供や紙面づくりに心がけていきたいと思っております。

最後に、記録的に早い桜の開花など、早すぎる春に戸惑うことも多いと思っておりますが、引き続き、農作物の管理にご留意いただきますようお願いいたします。

奥州農業改良普及センター
所長 柏原 一成

令和5年度活動体制

【所長(1)、課長(3)、農業普及員(10)、技師(5)、主任行政専門員(1)、計20名】

所長 柏原 一成

経営指導課

技術主幹兼経営指導課長 小綿 寿志

課員 (7名)

<農業経営グループ>

上席農業普及員	阿部 洋	(総括・果樹・経営体育成)
主査農業普及員	山口 恵子	(土地利用型作物・法人・経営体育成)
農業普及員	小向 昌啓	(経営改善・GAP・野菜・経営体育成)
技師	齋藤 菜々子	(野菜・経営体育成)

<畜産経営グループ>

上席農業普及員	千葉 彩	(総括・畜産・経営体育成)
農業普及員	姉帯 咲桜	(畜産・酪農・外部支援組織・経営体育成)
技師	濱野 梢	(畜産・肉用牛・飼料作物・経営体育成)

産地育成課

技術主幹兼産地育成課長 佐々木 洋一

課員 (4名)

上席農業普及員	星 伸枝	(総括・野菜・花き)
主査農業普及員	小館 琢磨	(水稻・畑作)
主任農業普及員	畠山 克也	(野菜)
技師	岩間 成美	(野菜)

地域指導課

技術主幹兼地域指導課長 小田中 温美

課員 (5名)

上席農業普及員	遠藤 和歌子	(総括・認定農業者・集落営農)
主任農業普及員	菅原 豊司	(集落営農・担い手育成)
主任行政専門員	安部 弘明	(庶務)
技師	佐藤 亮太	(新規就農・果樹)
技師	佐々木 絢菜	(農村活性化・果樹・青年組織)

転入者の御紹介



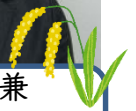
所長
柏原 一成



技術主幹兼
経営指導課長
小綿 寿志



技術主幹兼
地域指導課長
小田中 温美



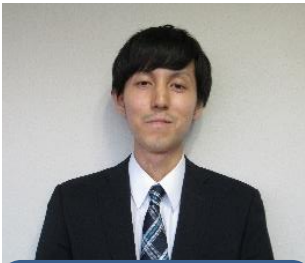
経営指導課
主査農業普及員
山口 恵子



地域指導課
主任農業普及員
菅原 豊司



経営指導課
農業普及員
姉帯 咲桜



経営指導課
農業普及員
小向 昌啓



産地育成課
技師
岩間 成美



<フレッシュ新採用からの一言>

本年度、採用になりました
岩間成美(いわまなみ)です。
笑顔で元気よく
一生懸命頑張ります!



職員一同
よろしくお願ひします!

転出者の御紹介

大変お世話になりました



氏名(役職)	転出先
佐藤 明子 (所長)	退職
長谷川 聡 (地域指導課長)	農林水産部農業普及技術課 農業革新支援課長
小田中 浩哉 (経営指導課長)	中部農業改良普及センター 技術主幹兼産地育成課長
佐藤 千秋 (上席農業普及員)	八幡平農業改良普及センター
小川 音々 (上席農業普及員)	一関農業改良普及センター
村上 大樹 (主任農業普及員)	農林水産部農産園芸課
羽田 雅紀 (農業普及員)	中部農業改良普及センター



「令和4年度農業青年活動実績発表県大会」 最優秀賞を受賞しました！

令和5年2月7日に開催された「令和4年度 農業青年活動実績発表県大会」において、奥州市江刺伊手でりんごを栽培する佐藤史人さんが、この大会の意見発表で最優秀賞を受賞しました。

この大会は、農業青年や新規就農者が日頃の活動を発表・討議し、農業の担い手としての資質を向上させることを目的に開催されたものです。

佐藤さんは、「独自販売を主体とした経営への転換」と題し、自身の販路拡大の取組について、営業活動や、ホームページとオンラインストアの開設等を行い新規販路を獲得することで、リスクの分散と売上の向上を図ったことを発表しました。

佐藤さんは、「最優秀賞をいただきとても光栄です。これを励みに、さらに頑張ります！」と意気込みを語りました。佐藤さんは、今後開催の東北農村青年会議の県代表の一人に選出されています。今後の更なる活躍が楽しみです。



受賞者
さとう 史人さん
佐藤 史人さん



農業農村農業士
くまがい ただあき
熊谷 匡章さん



御意見番！指導士の声



奥州市水沢で、(有)下館農産の代表取締役として水稻を中心に小麦、野菜等の栽培をしています。

水稻圃場には、毎年ようりん等で土作りをしてきましたが、去年は資材高により「発酵鶏糞」のみにしました。ところが、土壌分析の結果は、「いずれの成分も十分にありますので、土壌改良は不要です」とのこと。今までの土作りの結果を感じました。

また、去年は初めて飼料用米に取組み、なかなかの感触でしたが、令和6年度以降は助成金が徐々に減額されることに…（主食用米品種での場合）。猫の目農政に付いていくのは大変です。



農作業安全月間が始まります

4月15日から6月15日まで春の農作業安全月間です

岩手県農作業安全対策協議会の本年度農作業安全スローガン



「農作業 慣れと油断が 事故のもと」

ほ場周辺の危険箇所の確認、危険箇所の改善、シートベルトとヘルメットの着用などを徹底するほか、野焼きが原因の林野火災も発生していることから併せてご注意ください。